

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月24日更新

事務事業名		消防団員育成事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	総務部	課長名	青木洋治		
	施策	1	危機管理・防災対策の推進				所属課	総務課	担当者名	山隈和徳		
	基本事業	1	災害の未然防止対策				所属班	交通防災班	(内線)	1213		
予算科目		会計一般	款9	項1	目2	事業連番10011	法令根拠	消防組織法合志市消防団規則			成果優先度評価結果	②
								コスト削減優先度評価結果			⑪	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) ☐ 期間限定複数年度				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	- 消防学校入校手続き、各訓練、教育の実施(春季訓練、夏季訓練、操法大会、ラッパ隊訓練、幹部研修等) - 消防団制度が確立し、同時に団員の育成を始めた。 - サラリーマン化が進み、団員確保が困難である。 - 合併により団員が増加し、訓練場所の確保が難しくなっている。
【業務の流れ】	・年次計画の作成及び調整、消防学校入校手続き、支払い、各訓練の計画通知、開催、費用弁償支払い、研修地の選定、費用弁償の支払い
【主な予算費目】	・職員手当 報償費 旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費) 負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・消防団員の教育訓練の実施(訓練6回、延べ1,364人参加) 消防学校への入校(班長19名、分団長13名、副団長1名参加)		・消防団員の教育訓練の実施 ・消防学校への入校	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:教育、訓練の回数	回	市・県操法大会開催による旅費、出場補助金の減	
→イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・消防団員		→ア:消防団員	人
→イ:		→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・消防技術、知識を身につける		→ア:団員が訓練等に参加し技術・知識が身についたと思う幹部(分団長以上)の割合	%
→イ:		→イ:	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標	回	アイ	0	8	6	6	6	6	6	6	
② 対象指標	人	アイ	0	745	745	745	745	745	745	745	
③ 成果指標	%	アイ	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	180							
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	4,497	2,796	4,783	4,631	3,314	4,800	3,314	4,800
		(A)事業費計	千円	4,677	2,796	4,783	4,631	3,314	4,800	3,314	4,800
		(A)のうち指定経費	千円	246	99	497	373	228	500	228	500
	(A)のうち時間外・特勤	千円	133	76	237	226	138	200	138	200	
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	4	4	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	840	820	820	730	820	820	820	820
	(B)人件費計	千円	3,460	3,311	3,311	2,971	3,311	3,311	3,311	3,311	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,137	6,107	8,094	7,602	6,625	8,111	6,625	8,111	

事務事業名	消防団員育成事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由
	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	
	②25年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由 ☐ 向上余地がない ⇒【理由 ・現時点で、100パーセントで、これ以上向上の余地はないが、各種教育訓練を繰り返し行うことで、より室の高い知識・技術の習得を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ・消防団員を育成する事業は本事業のみである
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由 ☒ 削減余地がない ⇒【理由 ・各種訓練に係る団員の旅費、消防学校への負担金等であり、削減はできない
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由 ☒ 削減余地がない ⇒【理由 ・各種訓練等の準備に要する事務であり、削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由 ☒ 公平・公正である ⇒【理由 ・特定されない市民の生命、財産を守ることのための消防団員の育成であり、公平である
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由
事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？		

3 評価結果の総括（SEE）

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

消防学校入校、各種訓練及び教育の実施が滞りなく履行できた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善（有効性改善）
☐事業のやり方改善（効率性改善）
☐事業のやり方改善（公平性改善）
☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

各種教育訓練を繰り返し行う。

(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

消防団員確保が難しくなっている。

合志市